



2006-2007 第2780地区  
海老名欖ロータリークラブ会報

EBINA KEYAKI ROTARY CLUB WEEKLY



会長 上野 秀子 例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30  
 副会長 加藤 伸一 例会場 オークラフロンティアホテル海老名  
 幹事 小林 和彦 事務局 海老名プライムタワー 10F  
 副幹事 関 敏幸 海老名市中央 2-9-50 TEL 046-233-5122  
 会長以外 浅岡 康雄 編集 委員長 竹中 良成 委員 田村 全永  
 委員 小島美智子 横手 久枝 川島 俊郎

第538回例会

2007年(平成19年)3月8日

会長挨拶



先週土曜日の海老名環境フォーラムに出席してきました。非常にいい話が聞けましたが、当クラブからの出席が少なかったのが残念です。ああいう話を聞いていると、日ごろ、私たちの暮らしが贅沢になっていること、そのことが地球に負担をかけているということに気づかされます。意外だったのは、広葉樹林よりも針葉樹林の方が、4倍も二酸化炭素の削減効果があるということでした。そうだとすると、花粉症くらいは仕方がないかとも思いますが・・・

幹事 報告

《ガバナー事務所からのお知らせ》

- ★ 第16回青少年指導者養成プログラム受講生とロータリアン登録の願いがまいりました。
- 一 再度 RYLA登録の願いがまいりました。
- ★ 第18回ローターアクト年次大会開催案内及び登録協力のお願いがまいりました。
- 日時：4月22日 11:00 ~ 登録開始
- 会場：湯本富士屋ホテル
- 登録料：7000円
- ★ 米山学友会より「交流」9号が届きました。
- ★ ロータリアン絵画展のお礼が届きました。

《例会変更のお知らせ》

- 津久井中央RC 3/9(金) 18:30点鐘 夜間例会
- 3/30(金) → 3/29(木) GSEチーム相模湖観光
- 相模原東RC 3/12(月) 12:30点鐘 → 相模原産業会館4F
- 座間中央RC 3/15(木) → 3/13(火) 16:00点鐘
- 座間校インターアクトクラブと合同例会
- 3/22(木) → 通常例会
- 大和中RC 4/12(木) → 4/8(日) 第2回家族会へ
- 《週報受理》
- 大和中RC

委員会報告

親睦委員会 三部会員

3月19日(月) 海老名RC 創立20周年記念例会のお知らせ

日時： 3月19日(月) 15時集合 時間厳守  
 場所： 3階ピロティエ  
 内容： 式典 15時30分~17時10分  
 祝賀会 18時00分~19時30分

《国際ロータリー日本事務局より》  
 マルチプル・ポール・ハリス  
 ・フェロー・ピン授与



第537回例会出席報告

会員数	出席率	出席	欠席	出席率	5356定
	会員数				出席率
31名	31名	20名	11名	64.50%	87.1%

メーカーアップ

環境フォーラム 小笠原会員

卓 話

雑誌委員会

当クラブ推薦によりR I 奨学生に選抜された富永理恵さんの卓話

『自己紹介と専攻テーマの概要』

- 1 始めに  
 R I 財団奨学生の富永理恵です。自宅は海老名の国分寺台で、海老名小学校を卒業しました。中学・高校の6年間は、箱根にある函嶺百合中学・高校に片道3時間かけて通い、その後、百合大学文学部仏文科に進みました。百合大学を卒業後、横浜国大の大学院に進学し、そこでフランスにおける社会カトリシズムについての研究をするようになりました。社会カトリシズムとは、カトリックの理念に基づく経済社会の構造改革運動です。
- 2 研究の手法  
 ① 2000-2001年  
 『フランスにおける社会カトリシズムの歴史』、『フランスにおけるカトリックによる社会活動』を読んで、社会カトリシズムの全体像を把握。  
 ② 2001-2002年  
 フランス国立図書館等において、文献(『フランス社会週間』、『フランス社会批評』)にあたる。当時は午前9時から午後2時まで図書館に詰めて、文献を手書きで写した。  
 ③ 2003年9月-2004年11月  
 CFTC資料室(パリ)、社会史研究所(ヴァンセーヌ)等にて、(研究対象となる)当時の手書き文書等の資料にあたる。  
 古い手書き文書は読みづらいので、太陽に透かすようにして読みます。最初はなかなか読めないのですが、慣れてくるとだんだん読めるようになってきます。
- 3 研究概要  
 「フランス社会週間」の歴史・活動概要についての研究。  
 「フランス社会週間」とは、社会カトリシズムの中心的役割を担った機関で、ローマ・カトリック教会の事実上の公式機関です。参加者は聖職者だけでなく、法律家、経済学者、政治家、企業家、労働者など多様です。
- 4 三つの論点(研究テーマ?)  
 ① 社会問題をいかに解決すべきか  
 ② 国際平和を実現するために何をすべきか  
 ③ ヨーロッパ人の意識や行動を規定するものは何か。「社会週間」がこの種の問題にどのように対応してきたかを研究する。
- 5 展望  
 ・ これらの研究を通じて学んだことを、現代での問題解決に役立てる。  
 「歴史家は歴史に埋もれてはならない」(マルク・ブロック)。  
 ・ その時代と現代とのズレを認識しつつ考察することが必要。  
 ・ 精神、社会、経済の問題を、一面のみからではなく同時に取り扱う。



最後に

この度は、母親の体調が不良のため、残念ながらR I 財団の奨学生を辞退することになりました。皆様には、これまでご尽力いただき、本当に感謝しております。私も、いつの日か、皆様のお仲間に入れるよう頑張ります。